



RI 会長テーマ

2022～2023年度
大船渡西ロータリークラブ会報
七福人

会長 古内 一二

副会長 山口 徹

幹事 今野 義也



=会長指針=

お互いを理解しあおう

・・・ 例会記録 ・・・

11月第2週例会 2022年11月10日(木)

ソング：奉仕の理想 ボックス：19,000円 (報告者 熊谷雅也会員)

お客様紹介：第2520地区R財団地区資金推進委員長 陸前高田RC 千田勝治様

本日出席率：54.29% 前回修正後100% (マーカップ15名) (報告者 紀室綾子会員)

★ 会長の時間：山口 徹 副会長



本日は古内会長が出張のため、代理で会長の時間を務めさせて頂きます。地区ロータリー財団委員会資金推進委員長の千田勝治様、本日はお忙しい中、例会に来ていただきありがとうございます。講話もよろしくお願ひ致します。先日11月4、5、6日に盛岡で地区大会がありました。参加されたみなさまお疲れ様でした。私は4日のゴルフと6日の本会議に初めて参加しました。ゴルフは当クラブから7名の参加で、朝の5時に大船渡を出発しました。成績は藤澤会員が10位で前沢牛をゲット。飛び賞で浜田会員と私が安比アイスセットをもらい、菅野会員はニアピン賞を獲得するなど楽しくラウンドしてきました。本会議において森川ガバナーエレクトの話の中でロータリーの頼まれごとの返事は「はい」「YES」「よろこんで」最近は「まつてました」の言葉が印象に残りました。あと記念演奏でウクライナ出身の民族楽器“バンドゥーラ”奏者のカトリーナさんの楽器の音色と歌に感動しました。バンドゥーラはギターと豊琴を合わせたような形で、弦はなんと約60本、音色はピアノとギターを合わせたような音色です。日本語で歌った「翼をください」アンコール曲の「ふるさと」に感動して、帰り際思わずウクライナ募金に大枚を入れてきました。ユーチューブでも動画配信していますので興味のある方は見てください。

あと10月1日に福島県白河市で行われた東北地区ロータリークラブ親睦野球大会の話を少しあします。藤原会員から「人が足りないから参加して」と言われ、昔少しは野球をやっていたので何とかなるだろうと何も考えずに軽い気持ちで参加することにしました。

無謀にも北小学校のグラウンドで1回練習しただけです。試合当日直前に守備位置を言われ、なんとセンターとの事。初めのころはボールも飛んでこず余裕をかましていたら、最初の打球はフライ。取りに行こうとするも足がもつれその場で転倒。後は頭が真っ白「私は誰、ここは何処状態」でレフトの菅野会員にフォローしてもらう。ショックも冷めやらぬうちにまたフライが来てまた同じ状況。自分のイメージはちゃんと捕球。現実は足が前に出ない。しかも星飛雄馬の魔球のようにボールがゆらゆら揺れて見える。還暦過ぎのおじさんの現実を思い知らされました。これこそ「穴があったら入りたい」心境でした。今回の野球は屈辱しかありませんでした。次回は山形のようなので、事前に練習して華麗なプレーを見せたいと思います。

ロータリーの目的の一つに親睦があります。わたしは親睦が一番だと思います。今の時代は流行りませんが、昭和時代の社員旅行のようにみんなで出かけ親睦を深める事も大事だと思います。

最後に二日酔い、そしてキャッチャーとして動き回りお疲れの中、往復で約8時間のマイクロバスの運転をしてくれた藤原会員に感謝します。

1 ガバナー事務所より

森川昭正ガバナーエレクト壮行会の案内が届いています。

日 時 12月4日（日）17時～19時 場 所 ホテルメトロポリタン仙台
会 費 15,000円 締め切 11月18日

2 ガバナーエレクト事務所より 次年度地区補助金申請受付開始案内が届いています。

締め切 2023年2月末日必着

3 大船渡商工会議所より 令和4年度優良従業員表彰式について

表彰者 274名 表彰式は規模縮小で挙行との事

表彰記念品（副賞）協力金のお願いが届いています。（3万円）

◆◆◆ 本日のプログラム ◆◆◆

ロータリー財団アワー

第2520地区R財団地区資金推進委員長

陸前高田RC 千田勝治様 講話



資料を頂戴し、それに沿ってお話しいただきました。

年次基金（シェア）寄付の47.5%ずつがDDF（地区財団活動資金）と

WF（国際財団活動資金）5%が運営費となります。地区の活動やR財団の活動に活用されます。

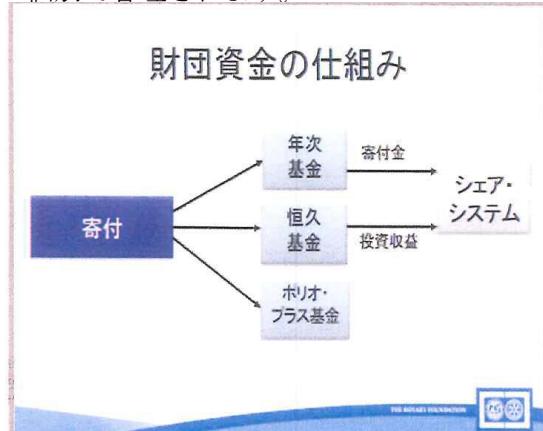
年次寄付金 3年間の資金として活用し、その運用益は財団の運営費に使用されます。元金は3年後半額がDDF、残り半額がWFとして戻されます。これを「シェアシステム」と呼びます。

ポリオプラス ポリオ根絶活動を支援します。

恒久基金 恒久基金は投資され、現金が支出されることなく、利用可能な収益の一部がR財団プログラムを恒久的に支えます。利用可能な収益の50%がDDFに残りの50%がWFになります。

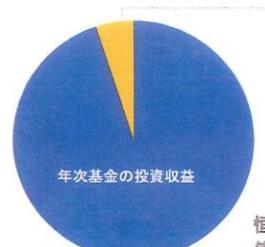
恒久危機へのご寄付25,000ドル以上でお好きな名前を付けた基金（冠名基金）を設立することができ個別で管理されます。

財団資金の仕組み

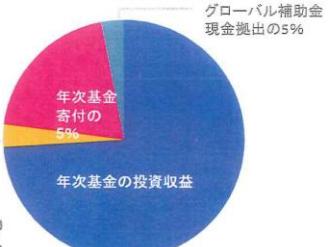


財団運営費の新しい資金モデル 既に2015年7月1日から有効

現在の資金モデル



新しい資金モデル



新しいシェアシステム 2021年7月1日寄付(2024-25プログラム年度)から

シェアシステム

\$1,000

\$475

DDF
(地区財団活動資金)

\$475

WF
(国際財団活動資金)

\$50

運営費

シェアシステム

3-3



地区は、寄付金のMax95%を使用できる

2つの資金

DDF（地区財団活動資金）

- 地区が活動方法を決定
- 地区のロータリアンが使用
- 財団の補助金やプログラムに活用

WF（国際財団活動資金）

- 管理委員会が活用方法を決定
- 全世界のロータリアンが使用
- 財団の補助金やプログラムに活用

SHARE Balances 第2520地区DDFの金額

3-6

3年前の地区寄付×1/2

2021.8.6現在

Program Year: 2022 (2021-22) 92,139.50 \$

District 2520 Starting

(18-19寄付×1/2) + 前年恒久基金配当 + 繙越 (20-21) - 事業予算 (21-22地区補助金)
 92,139.50 + 10月 + 91,724.33 - 49,388 = 134,475.83
 DG 49,388 \$(内、奨学金3,773 \$), GG \$ (奨学金、VTT、人道), 寄贈 \$ (ボリオ-1,平和-1)

投資配当金 \$ (10月頃確定)

2520地区 冠名基金4名

21-22地区補助金予算 Max 49,388 \$
 グローバル補助金予算 \$ (Max \$)
 将来を見込んだ予算を考慮する。

地区財団寄付状況

3-

2021年6月末日現在 (8/暫定)

地区年次寄付 85,43 \$ /人 日本平均 (集計中) \$. 世界平均 (集計中) \$.
 地区年次寄付総額 183,082.73 \$ 日本34地区 平均 (集計中) \$

年次寄付0クラブ 地区 0/77(0%) 日本 0/2,245(0%) 2021.6末日

R年度(使用)	2023-24	2020-21	2021-22	2022-23
寄付年度	2020-21	2017-18	2018-19	2019-20
年次寄付額	183,082.73 \$	165,129.24 \$	184,816.28 \$	163,304.79 \$
クラブ最低	91.74 \$	26 \$	26 \$	122 \$
0クラブ		0		

20-21年度は、地区内77クラブのご協力により、
 年次寄付0クラブとなり、5ロータリー年度(2016-17年
 度より)連続 0となりました。

地区大会参加 11月6日

本会議



懇親会

